

地域資源を活かした 商品開発

定員
30名
(先着順)

参加費
無料

岡崎市額田地区にある創業200年の産地問屋 宮ザキ園・当主をゲストに招き、同園で取組まれている地域特性、ストーリー性を重視した商品開発や、地域資源を活用した高付加価値商品の開発事例等について、お話を伺います。また、ワークショップを通して、地域資源を活かした商品開発について検討するとともにあいちの山里で商品開発に関わる方の交流の場を設けます。

講師 プロフィール



産地問屋 宮ザキ園 6代目当主 **梅村 篤志**さん
県内の農業高校を卒業後、現農研機構果樹茶業研究部門茶業研究領域(金谷茶業研究拠点)の研究員を経て、実家である産地問屋宮ザキ園に就農。現在は、自らお茶を栽培し、自園で緑茶や紅茶に加工して販売しています。

産地問屋 宮ザキ園

江戸時代後期から代々茶づくりを受け継いできた、岡崎市額田地区にある創業200年の茶園です。

講師の 事例紹介



満月煌茶

満月の夜に収穫した茶葉を使用することで、商品にストーリー性を持たせ、高付加価値化した商品。



おかざき かき氷街道

額田地区で採水される天然水と、地元産品由来のシロップやトッピングを使用し、9軒の飲食店がかき氷を提供する街道。梅村さんが仕掛人となり生まれました。

商品開発の
参考になるかも



お話を聞いて
みたいわ



日時 **2023年 10/18(水)** 14:00~16:30

(募集期間: 2023年9月26日(火)~10月8日(日))

場所 **岡崎市額田センター・こもれびかん
集会室A**

岡崎市榎山町字山ノ神21番地1

(駐車場有
名鉄名古屋本線宿駅より名鉄バスくらがり線又は
額田支所市民病院線「額田センター」バス停下車)

対象 **あいちの山里で商品開発をしている方
又は商品開発を目指す方等**

※あいちの山里とは、岡崎市(額田地区)、豊田市(旭、足助、稲武、小原、下山、藤岡の各地区)、新城市、設楽町、東栄町、豊根町の6つの市町村にまたがる地域を指します。

内 容

14:00	開会(概要説明)
14:05	講演 講師:産地問屋 宮ザキ園 6代目当主 梅村 篤志さん ・宮ザキ園の紹介 ・商品開発について ・地域イベント「おかざきかき氷街道」に関して
14:45	ワークショップ「地域資源を活かした商品開発」
15:55	閉会(イベント告知等)
16:00	交流会(名刺交換会等)
16:30	終了予定

参加の
お申込みは
こちら

- 応募フォームへ必要事項を入力
- 事務局からメールにて
当日の詳細案内を連絡します



三河の山里
サポートデスク



あいちの
山里 & 離島

お問い合わせはこちら

三河の山里サポートデスク事務局 〒441-1631 新城市豊岡字滝上31-1 TEL: 0536-32-6100 担当: 吉田
運営: 株式会社CBCクリエイション ※本事業の運営は、愛知県から株式会社CBCクリエイションに業務委託されています。